



討論

平成25年度一般会計決算に対し、4名の議員が討論を行いました。その概要を討論者が要約してお知らせします。

反対

日本共産党
吉川市議員団
遠藤 義法

吉川市の給与所得者の所得がこの5年間で19万円も下がるなど市民の生活は厳しさを増しています。市民のくらしを守る姿勢があまりにも消極すぎます。

保育所の待機児童はゼロと強調していますが、入所待ちが平成25年4月現在で65名もあり、市が責任を持って保育所増設を図るべきです。

市長が当面実施する計画はないと述べた水道水フロリデーシオン。啓発活動を止め、きっぱり中止すべきです。

市長は学校へのエアコン設置を検討すると答弁しました。早急な設置を求めます。

震災にそなえて家具転倒防止補助制度が実施されました。住宅リフォーム助成制度を創設し、木造住宅の耐震補助とあわせて利用しやすい制度とすべきで、経済効果も高いことは明瞭です。

水路整備の請願箇所がまだ多く残っています。道路補修など市民の身近な要望にこたえる事業を積極的に実施すべきです。

賛成

自民・みらい
松澤 正

平成25年度は、これまでの吉川美南駅や美南小学校といった大規模事業が完了したことにより、決算の金額だけを見ますと縮小したこととなりますが、給食センター整備に係る用地購入やPFI事業者決定、新庁舎建設に関する基本設計、そして吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業実施に向けた基礎調査など、今後の吉川市の発展につながる事業についても着実な進展が見られ、堅実さの中にも将来性が溢れた決算であったと評価しています。

国においては人口減少問題に対する危機感から地方創生大臣が創設され、国の課題と言われるまでに至りました。

吉川市は、現在のところ人口増が続き、将来の発展が望まれる状況となっております。これは、「住みよき日本一」を目指す戸張市長のまちづくりの成果であるとお礼に評価しているところですが、今後とも、職員と英知を結集し、市政運営が続くことをお願いして、賛成の討論とします。

賛成

公明党
吉川市議員団
五十嵐恵千子

平成25年度決算は、歳出総額約185億8727万円、歳入総額約192億1846万円でした。主な特徴は次の3点です。
①防災対策事業：竜巻被害や水害対策用品の充実。栄小体育館の耐震補強工事や旭小及び三輪野江小体育館の耐震性貯水槽整備。中曽根小と中央中の体育館照明器具の落下防止など。

②教育施策の充実：美南小の開校。医療的ケアの必要な児童を地域の学校で受ける機会の確保。不登校や引きこもり解消、いじめ根絶を目指したアンケートの実施。北谷小及び関小のプール改修工事。学校給食センター施設整備事業の推進など。

③子育て支援：「ホームスタート事業」の開始。美南子育て支援センターの開設。小児インフルエンザ予防接種の助成。子育て応援サイトの構築。民間保育所保育士の人材確保対策。待機児童ゼロに向けた取り組みなど。

以上、市民ニーズを的確に捉えた数多くの施策展開を高く評価し賛成討論とします。

賛成

市民改革クラブ
伊藤 正勝

市政運営、予算執行について。私たちは「見えるわかる納得できる」展開を求めてきた。「主要施策成果表」や監査委員審査報告に目を通し、質疑も重ねてきた。総体として業務増大の中で一歩進んでいる。財政健全度については市の借入金の前年度比マイナス10%。残高は10年前に比べ事実上30%以上の減。庁舎建設基金の積み増しなどもあり、一定の節度と備えが読みとれる。成果表では個別の事務事業の評価を充実し、投入予算や人件費、効率性や達成度。実状と課題など一段の「見える化」に。職員の考えや取り組みもわかる内容になってきた。

だが一部に違和感。産婦人科クリニック窓口支払い。これは子育ての人々に負担を強いる稚拙な取り組み。公園の草取り、公民館の飲食など、公共施設については住民本位で快適な運営と管理を。フロリデーシオンは先立って取り組むテーマではない。見直すべきは見直してほしい。

市長提出議案

前ページから続き

補正予算を可決

一般会計補正予算は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ7億6359万3000円を追加し、歳入歳出予算の総額は、それぞれ197億7169万4000円となりました。また、平成26年度から36年度を期間とするLED防犯灯貸借事業の債務負担行為が、1億9098万1000円で定められました。

なお、特別会計の補正予算は、下表のとおりとなっています。

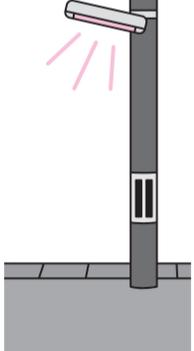
●特別会計補正予算 (単位：千円)

会計別	補正額	歳入歳出予算総額
国民健康保険	362,179	8,276,428
下水道事業	58,087	1,393,544
農業集落排水事業	4,752	35,308
介護保険	119,244	3,455,610
後期高齢者医療	2,572	418,515

一般会計補正予算 こんなことに使われます

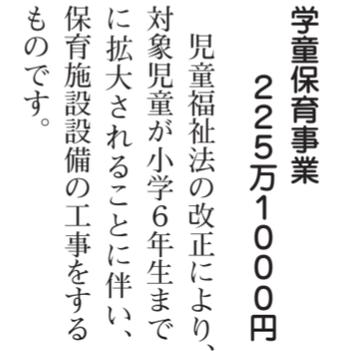
道路照明灯整備事業
1600万5000円

現在使用している防犯灯のコスト改善のため、LED防犯灯を導入します。



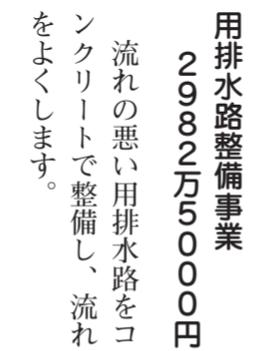
学童保育事業
2255万1000円

児童福祉法の改正により、対象児童が小学6年生までに拡大されることに伴い、保育施設設備の工事をするものです。



用排水路整備事業
29682万5000円

流れの悪い用排水路をコンクリートで整備し、流れをよくします。



道路維持補修事業
9321万9000円

急を要する道路工事等に対応するものです。

